

## 人工呼吸装置サーボベンチレータ

本器は、スウェーデンで研究開発され、最も高い性能を有し、新生児・未熟児から小児・成人とあらゆる患者の症状に最適の換気条件が得られる長期人工呼吸装置です。

また手術、術後呼吸管理、麻酔管理から回復室ICUでの長期呼吸管理に対応できます。殊に、麻酔管理におきましては、笑気、フローセン、エスレンイソフランの使用が可能です。

サーボベンチレータは、最新のエレクトロニクス半導体技術と豊富な臨床経験に基づいて開発された人工呼吸装置です。また、ICUにおける呼吸管理システム(RCU)のベース装置として各種の端末機器も用意されております。

さらに、第三世代の肺換気装置として、初めて生体機器システムの中にフィード・バック・サーボ・コントロール機構を取り入れ、生体の肺換気機能におきかえられる優れた人工呼吸装置です。

人工呼吸治療の終局の目的であった肺胞換気量レベルでの呼吸管理が可能になり、より患者治療管理の進歩が期待できます。肺機能ばかりでなく、心肺機能—全身の代謝管理に最も関連を持つ呼吸と循環の新しい領域への展開がひらかれます。また、単に治療目的ばかりでなく、監視警報装置を併せ持った診断装置です。

人工呼吸装置は患者生命維持装置として常時その動作が的確に保証されなければなりません。また、長期間連続して使用継続される場合は洗浄滅菌、消毒作業を含めて日常の保守管理を十二分に行う必要があります。サーボベンチレータは動作時間1000時間ごともしくは、年二回(半年に一度)オーバーホール作業が義務付けられております。

以上の完全オーバーホール作業ばかりではなく、患者装着前の動作試験、チェック、治療継続中の日々の点検、及び事後の洗浄滅菌作業も欠かすことが

できない重要な保守管理作業となっております。

サーボベンチレータ900C/Dは各種オプションにより呼気炭酸ガス濃度の計測(CA930)コンプライアンスとレジスタンスの計算(LMC940)、麻酔ガスモニタでの濃度表示(SGM120)、ネブライザ(SN-945)、を加えることにより、人工呼吸装置の機能を拡張させることができます。

フクダ電子株式会社

シーメンス営業部 池田 敦